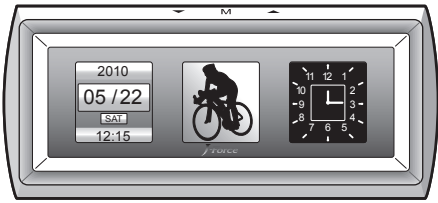




トリプルディスプレイ デジタルフォトフレーム

JF-DPF315
ユーザースガイド



この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

- ・ご利用の前に、本書に記載されている内容をよくお読みいただき、正しくご利用ください。
- ・本書とは別に書類が同梱されている場合は、同梱書類も必ずお読みください。
- ・「製品保証書」に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

サポートについて

メール： jforce_support@forcemedia.co.jp (24 時間 365 日受付)

※弊社からのご連絡は、受付日の翌営業日以降となります。あらかじめご了承ください。

※ご連絡の際には、必ず「製品・購入店舗・購入日」を明記してください。

電 話：03-5798-6609 (受付時間：平日午前 10 時～12 時まで/午後 13 時～16 時まで)

※お電話での対応は、祝祭日および弊社指定休業日を除く、受付時間内での対応とさせていただきます。

※ご連絡の際には、スムーズな対応のため「製品・購入店舗・購入日」がわかるものをお手元にご用意ください。

製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
本書の内容は予告なく変更されることがあります。
本書の著作権は株式会社 フォースメディアにあります。
本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書では TM ⑩ は明記しておりません。
製品を使用したことにより発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

株式会社フォースメディア

東京都品川区東五反田 1-13-12 COI 五反田ビル 9F

Copyright ©2010 株式会社 フォースメディア

製品保証規定

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる損害は、直接的、間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 取扱説明書等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証規定に従い保証期間は無償修理または交換いたします。
- 修理および交換をご依頼の際は、必ず製品と必要事項をすべて明記した製品保証書をご提示または添付ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理となる場合がございます。
 - 1) ご使用の誤り、または不当な修理、調整、改造、誤接続による故障及び損傷。
 - 2) お買い上げ後、落下等不当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷。
 - 3) 本保証書の提示がない場合、または未記入、改ざん等が認められた場合。
 - 4) 故障や損傷の原因が、本製品以外に起因して生じた故障及び損傷。
 - 5) 消耗品部品。
 - 6) 火災、水害、地震、その他の天変地異、公害、異常電圧や指定外の電圧使用等による故障及び損傷。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- ユーザースガイドに記載の注意事項、その他同梱書類の記載も併せてご覧ください。

製品保証書

保証期間： お買い上げ日から 1年間

製品型番：

お買い上げ日： 年 月 日

フリガナ

お客様名： 様

住所：

電話番号： - -

メールアドレスをお持ちの場合のみご記入ください。

E-mail：

販売店名・住所・電話番号 (販売店印)

印

安全上のご注意 ～本製品をご利用になる前に必ずお読みください～

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

この「安全上のご注意」では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用いただけますようお願いいたします。

図記号について

図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
	注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。
	行為を禁止する記号 (の中や近くに禁止内容が描かれています。)
	行為を指示する記号 (の中に指示内容が描かれています。)

警告

- 本製品の分解や改造、およびお客様ご自身で修理をしないでください。感電、故障、火災の原因になります。
- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常を確認したら、ただちに本体の電源スイッチを切り、ケーブル類を本製品から抜いてください。そのまま使用を続けると、感電、故障、火災の原因になります。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。
- 浴室等、湿気の高い場所では使用しないでください。感電、故障、火災の原因になります。
- 内部に水などの液体や異物が入った場合は、ただちに本体の電源スイッチを切り、ケーブル類を本製品から抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、故障、火災の原因になります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃が加わった場合、本体に破損箇所がある場合は、本体の電源スイッチを切り、ケーブル類を本製品から抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、故障、火災の原因になります。
- 本製品を熱器具の近くや直射日光のあたるところで使用したり、設置しないでください。感電、故障、火災の原因になります。
- 接続するケーブル類の取扱には十分ご注意ください。ケーブルに損傷 (芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など) がある場合は、ただちに本体の電源スイッチを切り、ケーブル類を本製品から抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、故障、火災の原因になります。
- 接続されているケーブルの上に重いモノを載せたり、接続されているケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為はお止めください。コードが破損すると感電、故障、火災の原因になります。
- 接続されているケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせしないでください。踏いて転倒したり、本製品に強い衝撃が加わるなど、怪我や事故、故障の原因になります。
- 濡れた手で本製品を操作したり、接続されているケーブル類を抜き差ししないでください。感電、故障の原因になります。
- 本製品に接続されているケーブル類を抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

注意

- お手入れの際は、安全のため接続されているケーブル類を抜いてから行ってください。
- ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。
- 高いところに設置する場合は、落下しないよう十分ご注意ください。
- 万が一の事故防止のため、本製品に接続されているケーブル類を直ぐに抜けるようにしてください。
- 長期間本製品を使用しない場合は、安全のために本製品に接続されているケーブル類を抜いてください。
- お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。
- 本製品を火の中に入れてください。破裂して怪我の原因になります。
- 本書に記載されている以外の用途で使用しないでください。

本製品について

- ・ 1.5 インチ TFT LCD パネルを 3 個搭載。3 つの画像を同時表示。
- ・ アナログ時計&カレンダー表示。
- ・ バックライト付タッチセンサーボタン採用ですっきりした外観。
- ・ オフィスのデスクにもフィットするシンプル&コンパクトデザイン。
- ・ Windows&Mac 両対応。
- ・ USB 充電方式 (リチウムポリマー電池内蔵)。
- ・ プレゼント用ギフトボックス付属。

付属品

本体
USBケーブル
ギフトボックス (空箱 → プレゼント用にご使用ください)
ユーザースガイド/保証書

①注 意

ご購入いただいた商品に欠品がございましたら、誠にお手数ですが販売店までご連絡ください。

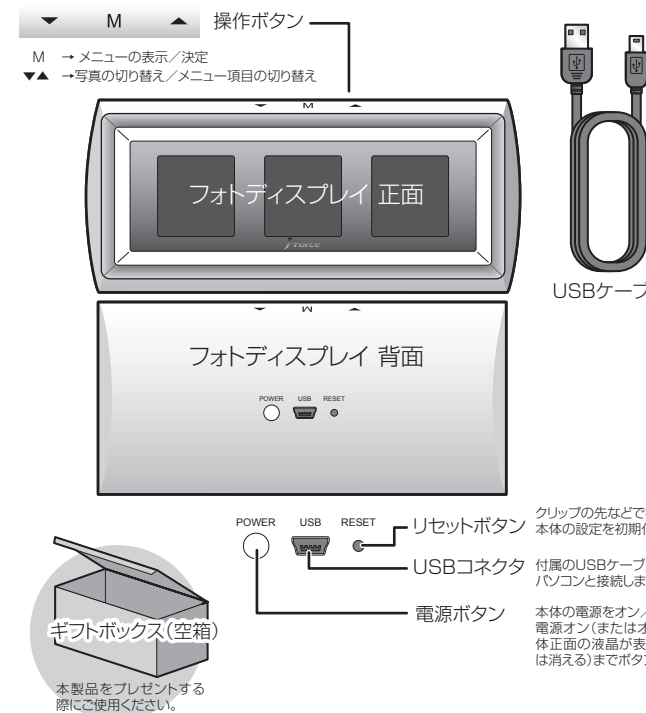
製品仕様

対応機種	USB2.0インターフェイスを標準搭載した Windows PCおよびMac
対応OS	Windows 7 / Windows Vista (SP1～SP2) Windows XP (SP2～SP3) Mac OS X 10.4以降 (*64bit OSには対応しておりません。)
インターフェイス	USB2.0対応
液晶パネル	128×128ピクセル 1.5" TFT × 3枚 (表示色数:65,000色)
内蔵メモリ	2MB
記録画像数	約110枚
連続動作時間	約4時間
対応画像形式	BMP、JPG
電源	内蔵リチウムポリマー電池 (USB充電方式)
動作温度範囲	5℃～40℃
動作湿度範囲	20%～80%
外形寸法	W135×D45×H60mm (突起部を除く)
質量	203g

各部の名前と主な機能

MEMO

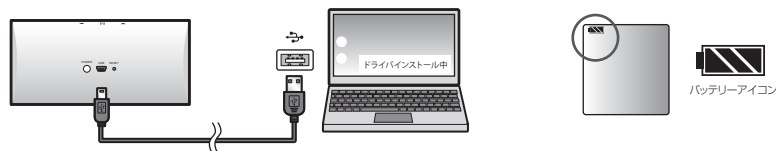
フォトフレームの使い方については、裏面「フォトフレームの主な使い方」も参照してください。



充電する（パソコンとの接続）

パソコンの電源をONにして、付属のUSBケーブルで、パソコンと本製品を接続してください。自動的に本製品の充電を開始します。

充電中は、ディスプレイ左上に「バッテリーアイコン」がアニメーション表示されます。充電が完了すると、アニメーション表示が停止します。



完全充電まで→約2時間
連続稼働時間→約4時間（使用状況により異なります）

① 注意

初めて本製品を使用する時は、必ず2時間程度充電してからご使用ください。**初めてWindowsと接続する場合**
初めてパソコンと接続した時は、本製品の認識に数十秒時間を要し、「ドライバをインストールしています」等の「認識中」を示すメッセージが表示されます。本製品の認識が完了するまで、むやみに操作したり、ケーブルを抜かないでください。

メニュー画面の表示と操作

Step.1 本製品をパソコンに接続します。

パソコンの電源をONにして、付属のUSBケーブルで、パソコンと本製品を接続します。

Step.2 [M] ボタンを押します。

操作ボタンの[M]（メニューボタン）をタッチすると、メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、操作ボタンをタッチして操作します。

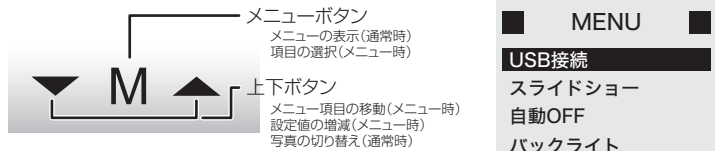
選択されている項目は反転表示されます。この状態で[M]ボタンをタッチすると、決定されます。選択項目は[▲▼]ボタンで移動します。メニューを閉じる場合は、メニュー画面で「閉じる」を選択します。

MEMO

一定時間メニューを操作しなかった場合、自動的にメニュー画面が閉じます。また、通常時に[▲▼]ボタンを押すと、写真を切り替えることができます。

メニュー項目について

USB接続 スライドショー 自動OFF バックライト 時計 表示設定 1枚削除 すべて削除 閉じる	■USB接続 「はい」→画像管理ソフトウェアの起動 「いいえ」→キャンセル ■スライドショー スライドショーの間隔を0～15秒の間で設定します。 スライドショーをOFFにする場合は、「0秒」に設定します。 ■自動OFF 指定した時間が経過すると、自動的に電源をOFFにします。 ■バックライト 画面明るさを調整します。	■時計 現在の日時をアナログ時計かデジタル時計で表示します。 「時計設定」を選択すると、日時を設定します。 [M]ボタン押して、「年」→「月」→「日」→「時間」を切替えます。 [▲▼]ボタンを押して、数値を変更します。 ■表示設定 スクリーンの表示方法を、あらかじめ設定されている7つのパターンから選択します。	■1枚削除 画像を1枚削除します。 1. 削除したい画像が表示されている状態で、メニューを表示します。 2. 「1枚消去」を選択します。 3. 「はい」を選択すると削除されます。 ■すべて削除 「はい」を選択するとすべての画像が削除されます。 ■閉じる メニューを終了します。
--	--	---	---



画像を転送する

Step.1 本製品をパソコンに接続します。

Step.2 メニュー画面を表示します。

Step.3 [USB接続]を選択します。

メニュー画面で「USB接続」を選択します。続いて表示される画面で「はい」を選択すると、接続が開始されます。

Step.4

画像管理ソフトウェア「DPFMate」を起動します。ご利用のOSによりソフトウェアの起動方法が異なりますので、ご注意ください。

Windowsの場合 接続が開始されると、パソコン上で自動的に画像管理ソフトウェア「DPFMate」が起動されます。 ① 注意 DPFMateが自動的に起動しない場合 一部のバージョンのWindowsおよびWindowsの設定によっては、接続を開始した際に「自動再生」画面が表示される場合がございます。「DPFMate.exeの実行」を選択すると、本製品の画像管理ソフトウェア「DPFMate」が起動します。 パソコンに接続しても、「自動再生」画面が表示されず、DPFMateも自動的に起動されない場合は、マイコンピュータ（またはコンピュータ）を表示して、CDドライブに登録されている「DPFMate」をダブルクリックして、ソフトウェアを起動してください。	Mac OSの場合 接続が開始されると、デスクトップ上に本製品を示す「DPFMate」アイコンが表示されます。「DPFMate」の中にある「MacDPFmate.zip」を、ご使用Macにコピーします。コピーした「MacDPFmate.zip」を解凍して、画像管理ソフトウェア「MacDPFMate」をダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。 起動
--	---

Step.5 パソコンから本製品に転送したい画像を選択します。

画面上部のエクスプローラー画面で、転送したい画像が保存されているフォルダを選択して、転送したい画像を選択します。

Step.6 画像を編集します。

プレビュー画面に、画像が表示されます。四角のマスをドラッグして、切り取る範囲を選択します。画像を回転させたり拡大するなど、画像を編集することも可能です。詳しい編集方法については、「DPFMateについて」を参照してください。

Step.7 アルバムに保存します。

[同期]ボタンを押してアルバム画面に追加します。同様の操作を繰り返して、本体に転送する画像をアルバム画面に追加します。

Step.8 本体に転送します。

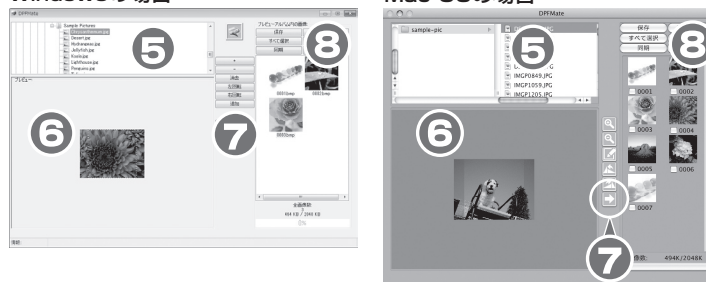
[同期]ボタンを押すと、アルバム内の画像が本製品に転送されます。

本体メモリ→2MB
画像保存枚数→約110枚

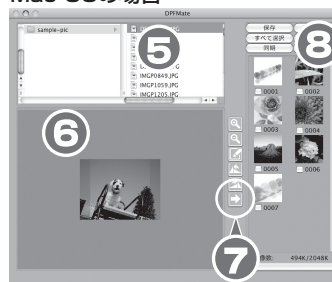
MEMO

「DPFMate」では、画像の編集やアルバムの保存なども可能です。詳しい操作方法については、「DPFMateについて」を参照してください。フォトフレームの使い方については、表面「各部の名前と主な機能」、裏面「フォトフレームの主な使い方」を参照してください。

Windowsの場合



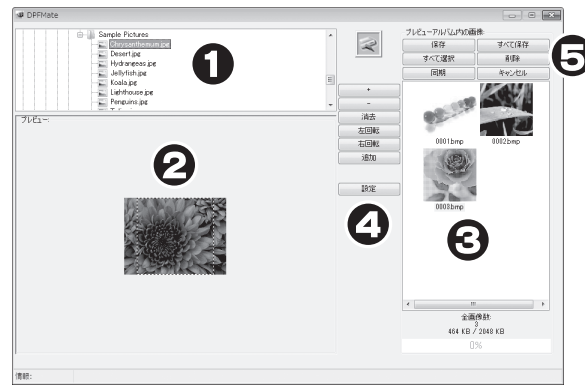
Mac OSの場合



DPFMateについて／MacDPFMateについて

「DPFMate」「MacDPFMate」では、本体への画像の転送、画像の編集、フォトアルバムの管理を行います。

Windowsの場合



① エクスプローラー画面

パソコンのフォルダが表示されます。本体に転送する画像を選択します。画像を選択すると、プレビュー画面に画像が表示されます。

② プレビュー画面

フォトフレームに表示される範囲が、四角に表示されます。四角をドラッグしてフォトフレームに表示する部分を選択します。

③ アルバム画面

[同期]ボタンを押した際、本体に転送される画像が表示されます。画像を編集する場合は、Windowsの場合は画像をクリック、Mac OSの場合はチェックボックスにチェックを付けると、プレビュー画面に画像が表示されます。

④ 画像編集ボタン

プレビュー画面の画像を編集したり、編集された画像をアルバムに送る際に使用します。

- ① 画像を拡大。
- ② 画像を縮小。
- ③ 修正内容をキャンセル。
- ④ 画像を左回転。
- ⑤ 画像を右回転。
- ⑥ 画像をアルバム画面に追加。
※このボタンを押しただけでは、本体に転送されません。本体に転送する場合は、アルバムに追加した後「同期」ボタンを押してください。
- ⑦ メニュー画面の文字および背景色を変更します。(Windowsのみ)

⑤ 画像管理ボタン(アルバム内の画像管理)

アルバム画面内の画像管理を行います。

- ① アルバム画面内で選択されている画像をパソコンに保存します。Windowsの場合、画像を複数選択する際は、キーボードの「Ctrl」ボタンを押しながら、保存する画像をクリックします。MacOSの場合、チェックボックスにチェックを付けます。保存形式は、BMP形式か本製品専用のファイル形式(DPFファイル)を選択します。
- ② アルバム画面内の画像を全て選択します。
- ③ アルバム画面内の全ての画像を、本体に転送します。
- ④ アルバム画面内の全ての画像をパソコンに保存します。保存形式は、BMP形式か本製品専用のファイル形式(DPFファイル)を選択します。
- ⑤ 選択されている画像を削除します。
- ⑥ ソフトウェアを終了します。

DPFMate(MacDPFMate)の終了～接続の解除

Windowsの場合

Step.1 ソフトウェアを終了します。

Step.2 タスクバーのUSBアイコンをクリックして、本製品を選択します。

Step.3 本製品をパソコンから取り外します。

フォトフレームの主な使い方(電源のオン/オフ、画像の切り替え)

電源オン

本体正面の液晶が表示されるまで電源ボタンを押します。表示されたら、ボタンを放します。

電源オフ

本体正面の液晶が消えるまで電源ボタンを押します。表示が消えたら、ボタンを放します。

画像の表示

電源がオンになると、メニューの「スライドショー」「表示設定」の設定に従って、本体に転送されている画像が順次表示されます。

画像の切り替え

手で画像を切り替える場合は、操作ボタンの[▲▼]ボタンを押します。



画面右上に、画像の総数と、現在何番目の画像が表示しているか表示されます。